



中高一貫教育校視察

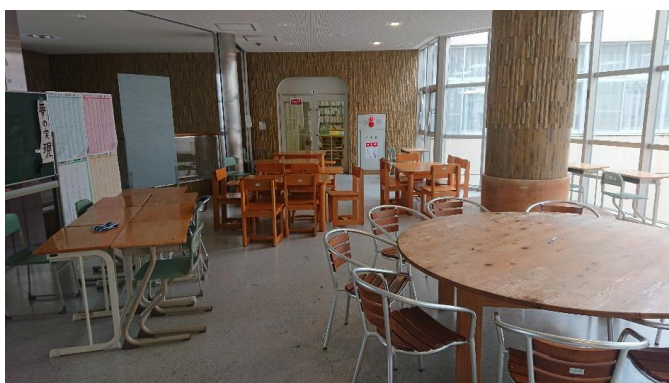
10月29日（火）

10月24日（木）25日（金）の2日間で県教委主催の先進校視察に参加しました。主な参加校は来年度から付属中学校を立ち上げる予定の5校ですが、本校も研究のために参加させていただきました。

1日目は、八王子市にある東京都立南多摩中等教育学校を訪問しました。文部科学省や東京都の指定を複数受けて様々な取組をしています。特に力を入れているのがフィールドワークを通した探究活動です。これを徹底させることで進路実現につなげているところが、大きな特色です。探究活動の時間には、生徒達がのびのびと取り組んでいました。校長先生の説明の中にもあった「やり切らせる」指導は、本校の取組と通じるところがあり、たいへん参考になりました。

2日目は、京都府南丹市にある京都府立園部高等学校・附属中学校を訪問しました。付属中学は各学年1クラスずつの編成であるため、本校の将来モデルにもなると考えての視察でした。園部城の城門を校門にしているという重厚さと内閣官房長官も務めた野中廣務氏の母校でもあるということで、歴史と伝統を感じる佇まいです。山陰線で京都駅から山陰線で約40分の所に位置し、小規模な学校ながら着実な実績を残しつつあります。

どちらの学校も施設設備が充実しており、国や都・府の支援も十分受けながら取り組んでいる様子が窺えました。本校も3年後の開設に向けて県や関係機関とも連携しつつ準備を進めてまいります。



南多摩中等教育学校の校内の様子（左、右上）

園部高等学校・附属中学校の校門（右下）

